

## 第4学年 学級活動指導案

日時 平成18年10月13日(金) 5校時  
児童 男13名 女22名 計35名  
指導者 福士 晴彦

### 1 題材名 「学級目標の達成のために ステージ2」

### 2 題材について

#### (1) 題材設定の理由

4年生という学年は、集団意識が高まり、仲間と関わりながら活動しようとする欲求が強くなる時期である。

本学級では、「学級目標(一致団結・元気・全力)」の達成を目指す活動の中で、仲間との関わりを深めたり、協力して活動したりしてきた。一学期には、運動会での表現への取り組みや、「一致団結という学級目標を達成するために何をするか」を話し合い、学級全員でスポーツ集会に取り組んだ。運動会では、踊りで動きをそろえようとしたり、組体操で力を合わせたり、表現をよりよいものに仕上げようという姿が見られた。スポーツ集会でのふりかえりでは、「パスがうまくつながった」「声をかけあうことができた」といった発表があり、自分たちなりに目標の達成を感じることができた児童が多かった。

今回は児童の関心も高い、吉里っ子文化祭のステージ発表の内容を決めることを議題として取り上げる。児童が自ら発表内容を決め、自分たちがステージで発表するよりよい姿を目指し、目標に向かって取り組んでいくことがこの題材では可能であると考えた。児童が、学年初めに決めた「一致団結」という言葉には、「仲よし」「協力」といった意味がこめられている。表面だけの「仲よし」「協力」ではなく、時には厳しくお互いが注意し合ったり、励ましあったりしていく中で、学級が「一致団結」してよりよいものを創り上げていく楽しさや、ステージ発表を完成させて成功させた喜びを感じさせたいと考え、この題材を設定した。

#### (2) 児童について

4年生は、明るく元気な児童が多い。その場に合ったよりよい態度や生活スタイルを目指そうとしている児童が多く、普段の生活の中でもお互いに声をかけあう姿が見られる。反面、声をかけられなければその場に合った自分の行動ができない児童も何人かいる。

話し合いには、意欲的に参加する児童が多い。これまでの、「学級目標づくり」「月目標への取り組み」などの話し合い活動では、自分の理由をはっきりさせて意見を発表すること、自分の意見と友達の意見を比べて立場をはっきりさせることができる児童が増えてきた。また、まだ十分とは言えないが、議長や書記の仕事内容を理解し、帰りの会などの短時間での簡単な話し合いなどは自分たちで進めることができるようになってきている。

話し合いカードに事前に考えを書く活動を行うことにより、話し合いに考えを持たずに臨むということは無くなったが、出し合い・比べ合いの場面では、まだ自分から進んで意見を発表できない児童も見られる。また、学び合い・まとめ合いでは自分の意見に固執せずに友達の意見のよさに気づいたり、学級にとってよりよい解決を選ぼうとして考えたりして発表できる児童は、まだまだ少ない。

#### (3) 指導にあたって

事前活動として、2学期の学級目標の「一致団結」の場として、文化祭、連合音楽会を位置付け、学級全員で取り組もうとする意識を持たせたい。連合音楽会の練習は児童が中心になって練習計画を立て、練習を進めることができるようにする。その過程で、文化祭へのステージ発表への期待感を高め、議題につなげたい。発表内容については、児童の経験も少ないので、ビデオなどを見せて、情報を与えておくようにする。

話し合いでは、事前にやりたい内容についてのアンケートを取り、計画委員会を中心に、内容を2～3に絞って提案させ、その中から選ばせる。比べ合いでは、それぞれが考えた理由を大切に話し合いを進める。学び合いでは、友達の意見を聞きながら、それぞれの考える「一致団結」の姿を明確にし、まとめ合いでは、学級みんなで取り組んでいけることを選んでいけるようにしたい。

話し合い後は、実行委員会で中身を決定し、取り組ませる。練習からステージ発表まで、「一致団結」を言葉に活動し、自分たちでやったという大きな達成感を持たせたい。

### 3 指導目標

文化祭のステージ発表の内容を話し合い、決定したものに取り組むなかで、さらなる「学級目標(一致団結)」の達成ができるようにする。

### 4 指導計画

	活動内容	期日	参加児童	指導上の留意点
自ら考え	1・クラスの目標の「一致団結」について、2学期はどうやって達成していくのか、学級役員と話し合い、文化祭、連合音楽会を通して達成を目指すことを確認する。 ・連合音楽会へ向けての練習を進める中心メンバーを募り、練習計画を立て、練習する。	8/18 放課後	学級執行部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合音楽会への練習の盛り上がりの中から、文化祭のステージ発表に目を向けさせる。</li> <li>・文化祭の話題を出し、議題ポストへ意見が出るように働きかける。</li> <li>・学級執行部が提案できるように、積極的に担任が支援する。</li> <li>・議題を共通理解し、意欲的に参加できるようにさせる。</li> <li>・ビデオなどでいろいろな発表内容を見せておく。</li> <li>・どんな内容が考えられるか例も出し、具体的に考えさせるようにする。</li> <li>・自分の考えを持って話し合いに参加できるように支援する。</li> <li>・話し合いの進め方については教師が中心になって相談する。</li> <li>・内容は、一つにすることを明らかにしておく。</li> </ul>
	2 問題の発見 ・ステージ発表の内容について考えを持つ。	9月中 昼休み	中心メンバー	
	3 議題の選定 ・議題ポストを開け、議題を決定し、他の意見の取り扱いも決める	10/2 帰りの会	全員	
	4 議題の決定 ・学級執行部から議題、提案理由を発表する。 ・どんな内容が考えられるかアンケートを取る。	10/3 放課後	学級執行部	
	5 話し合いカードの記入 ・整理された意見の中から自分の考えを選び、話し合いカードに記入する。	10/4 帰りの会	全員	
	6 話し合いの計画 ・計画委員会で話し合いの進め方を相談する。	10/5 昼休み	計画委員会	
伝え合い	7 話し合い 「吉里っ子文化祭のステージ発表でやる内容を決めよう！」	10/6 10/10~12 放課後等	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの話し合いを見守りながら、適切な助言を行う。</li> </ul>
	高め合う	8 事後活動 ・実行委員会を組織する。 ・決まったことを実行にうつすために何が必要なのか検討し、計画を立てる。 ・それぞれでできることを確認し、練習したり、作ったりする。 ・吉里っ子文化祭で発表する。	10/13 (本時)	
高め合う		9 ふりかえり ・活動全体をふりかえり、次の活動への意欲を持つ。	10/16 帰りの会	実行委員
		10/16 放課後 10/17~ 11/12 11/16	全員 全員 全員	

5 評価規準

【関心・意欲・態度】

学級目標(一致団結)を意識して、話し合いに参加し、練習に意欲的に取り組もうとしている。

【思考・判断】

提案理由や話し合いの条件にそって、自分の意見を考えたり、友達の意見と比べて考えたりしている。

【技能・表現】

自分の考えを、理由をはっきりさせて発表し、友達の考えを聞いている。

【知識・理解】

学級目標にむかって学級が協力して取り組むことの大切さがわかり、取り組み方を理解している。

6 本時の指導

(1)ねらい

・学級目標の達成を目指して、文化祭で何に取り組んでいくのか、友達の考えと自分の考えを比べながら話し合い、内容を決めることができる。

(2)展開

	活動の流れ	児童の活動	支援(・)と評価( )
つかむ	1はじめの言葉 2役割紹介 3議題の確認	・副議長が開会する。 ・司会グループが自己紹介する。 ・議長が議題を確認する。	・はっきり話させる。  ・分かりやすく話させ、しっかり聞かせる ・議題について全員が理解できるようにする。
	4提案理由の確認 5話合うこと・条件	・提案者が理由を述べる。 (1学期には、スポーツを通して、一致団結をしてきた。吉里っ子文化祭で、さらに一致団結していきたいから。 ・議題について話し合うことや条件を確かめる。 みんなが参加できる 時間は、15分くらい	
3分	6話し合いのめあて どんな「一致団結」を目指せばいいのか考えて、一人一回発言しよう!	練習できる回数は15日以内	めあて、議題、内容についてつかむことができたか。 【行動観察】
話し合う	7話し合い ・出し合い  ・比べ合い	・事前に出された意見を確認する。 (例)・劇 ・群読 ・踊り ・自分の意見を理由と共に話す。 (例)・劇がいいと思います。今までもやってきているし、みんながえられるからです。 ・群読がいいと思います。声をそろえるところが一致団結だと思うからです。	・議長にしっかりと話させる  ・自分の考えの理由を話させる。 ・発言を促すような声かけをする。 ・1つずつの意見についてよさや問題点を発表させる。 ・提案理由に沿っているか考えさせる。

32分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合い</li> <li>・まとめ合い</li> <li>・きまったことの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊りがいいとおもいます。運動会でやったソーラン節はみんなで動きをあわせて、とてもいいなと思ったからです。</li> <li>・心配なこと不安なことがあれば、出し合い、それについての考えを出す。</li> <li>(例)・劇が15分でできるか心配です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・去年もそれくらいの時間でできたから大丈夫だと思います。</li> </ul> </li> <li>・出された理由に着目して、話し合いを進めていく。</li> <li>(例)・ぼくは、「声をそろえる」ことは、一致団結だと思うし、心を合わせないとできないと思ったので、群読に賛成です。</li> <li>・できるだけ話し合いによって、まとめる</li> <li>・ノート書記が決まったことを発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと同じなのかどうか考えさせる。</li> <li>・それぞれの理由がはっきりするように黒板書記の支援をする。</li> <li>・もう一度、提案理由や条件を確認し、意見を見直させる。</li> <li>・それぞれの意見のよさに気づき、自分の考えを深めていけるように支援する。</li> </ul> <p>自分の考えを進んで発表できたか。【行動観察】</p> <p>みんなの意見を自分の意見と比べながら聞くことができたか【観察】</p>
ふりかえり 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 ふりかえり</li> <li>9 反省と感想発表</li> <li>10 先生から</li> <li>11 終わりの言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いカードに記入する。</li> <li>・めあての達成度を確認し、感想を発表する。</li> <li>・先生の話聞く。</li> <li>・副議長が閉会する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想に記述する観点を明らかにする。</li> <li>・話し合い全般に関わって、賞賛したり、活動の意欲付けとなる励ましの声をかけたりする。</li> </ul> <p>話し合いでの自分や友達の様子について、評価することができたか。 【観察・話し合いカード】</p>

(3) 板書計画

<p>踊り 動きが合っていていい。</p> <p>群読 声をそろえる。</p> <p>劇 今までもやってきた。 十五分でできるのか。</p>	<p>第十回学級会 めあて どんな「一致団結」を目指せばいいのを考えて、一人一回発言しよう！</p> <p>議題 吉里っ子文化祭のステージ発表でやる内容を決めよう！</p> <p>提案理由 一学期には、スポーツを通して、一致団結をしてきた吉里っ子文化祭で、さらに一致団結していききたいから。</p> <p>話し合いの条件 1. みんなが参加できること 2. 時間は、十五分くらいということ 3. 練習できる日数は十五日ということ</p>
--	--